学校番号	112

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編現代文Ｂ　（数研出版）						
副教材等	「３回書き込み式　標準漢字演習　５級～２級」(とうほう)　パーフェクト演習　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一年次で学んだ「国語総合」の現代文での学習内容を踏まえ、高校生としての現代文の学力を養うことを目標にします。
・近代以降の文章について、読解、鑑賞、読書の方法を学習し、ものの見方、考え方を深め、また、表現力を高めることを目指します。
・随想、小説、評論、韻文それぞれについて、偏りがないよう留意して扱います。
・副教材を用いて、文章問題の解法、常用漢字を基本に多角的な漢字の力を身につけることを求めます。

2　学習の到達目標

・身の回りの言葉や自らの言語生活を考える。
・現代社会に広まっている一般的な文章を正確に理解する。
・詩を通じ想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨く。
・論理的な要素を持つ文章の読解方法を身につける。
・小説を精読することで、その面白さを味わう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想(一)	教材 素直に生きる	○			○	○	a:文章の筋道を的確にとらえ、「楽しみが味わえる」ことについて思索を深めている。 d: 筆者が、「やる気がなかった仕事」の方が結果が上出来と述べる理由について理解している。 e: 「脇目もふらず」「とびつく」を用いて短文を作らせる。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	小説(一)	教材 鉄のしぶきがはねる	○		○		○	a:作品の主題を理解し、自己の行き方に引きつけて考え、思索を深めている。 c:崎原さんや祖父の心情を読み取り、感想文を書く。 e:比喩表現の意味を正しく理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c・e:記述の確認及び定期考査
	評論(一)	教材 失敗談	○			○	○	a: 「セレンディピティ」などの言葉の意味を捉え、筆者の持つ問題意識を理解しようとしている。 d: 筆者が失敗を通じて伝えたい事柄を理解している。 E「百発百中」等の数字を含む四文字熟語をついて調べさせる。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト

2学期	小説(二)	教材 花のような人	○		○		○	a:登場人物の性格・心理・行動を性格に読み取り自分の行き方に引きつけて考え、思索を深めている。 c:「私」の薔子に対する見方がどのように変化しているのか考え、文章にする。 e:「私」や薔子の職業観について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c・e:記述の確認及び定期考査
	詩	教材 未確認飛行物体	○			○	○	a:詩にこめられた作者の思いを読み取り、言語に対する感性を磨き、自己の生き方に引きつけて考えている。 d:「薬缶」や「白い花」を人間にたとえるとどのような人物像が浮かんでくるか考えさせる。 e:韻文の持つ表現上の特色を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d・e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論(二)	教材 ロボットと人間の未来	○			○	○	a:筆者のロボットに対する思いを理解し、自ら生活を豊かなものにしようとしている。 d: 相手のことを考えるという点で「手紙」と「電話」とではどのような違いがあるかと筆者は考えているか理解している。 e: 携帯電話がどのように広まっていったかを調べさせる。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト

3学期	小説を読む(三)	教材 こころ	○		○		○	a:登場人物の生き方と自己の生き方とを対比して、人生について考える契機としている。 c:この作品を読んで考えたことを自分の言葉でまとめ、適切な表現による文章を書いている。 e:小説の舞台となっている明治という時代について理解している。「こころ」全文や夏目漱石の他の作品を読み、より深い作品理解に努めている。	a:行動の観察及び記述の点検 c・e:記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。